

経済

行財政	→ 財政は、 収支は取れているものの、財源に余裕がない 状況。 → 公務員給与は、全国的にも平均的 だが、人口に対する 職員数などは少なく、最低限の体制での行政運営 。
労働力	→ 主産業は農業・漁業 。ただし、 担い手の30%以上が60歳を超え高齢化 。 → 労働力人口は、西胆振の中でも、比較的若い労働者の割合が高い。ただし、 若い世代の完全失業率が高く、若者が多いのに、働けていない人が多い 。
産業	→ 豊浦町民の 所得は、約半分が他地域で稼いだもの 。 → 一人当たりの収入は、第2・3次産業が低く、第1次産業が高い。 → 一人当たりの雇用者所得は、全体で308万円。（全国1,741市区町村中1,493位）

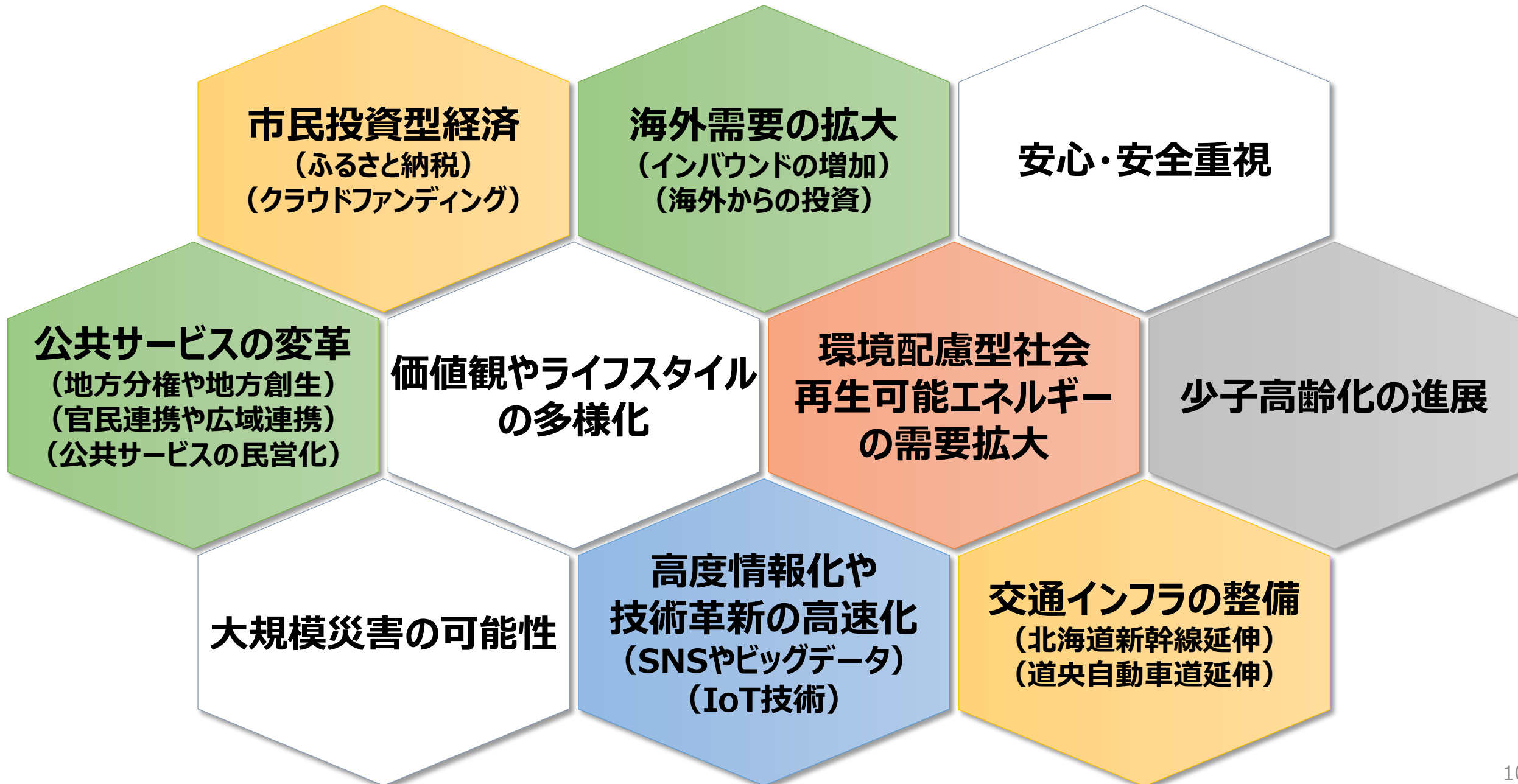
生活環境

子育て教育	→ 周辺自治体と比べ、人口に対する 保育所・学校の施設数が多い 。
医療福祉	→ 周辺自治体と比べ、人口に対する 医療施設数は平均的 だが、 医療従事者数が少ない 。人口に対する 老人福祉施設数は多い 。

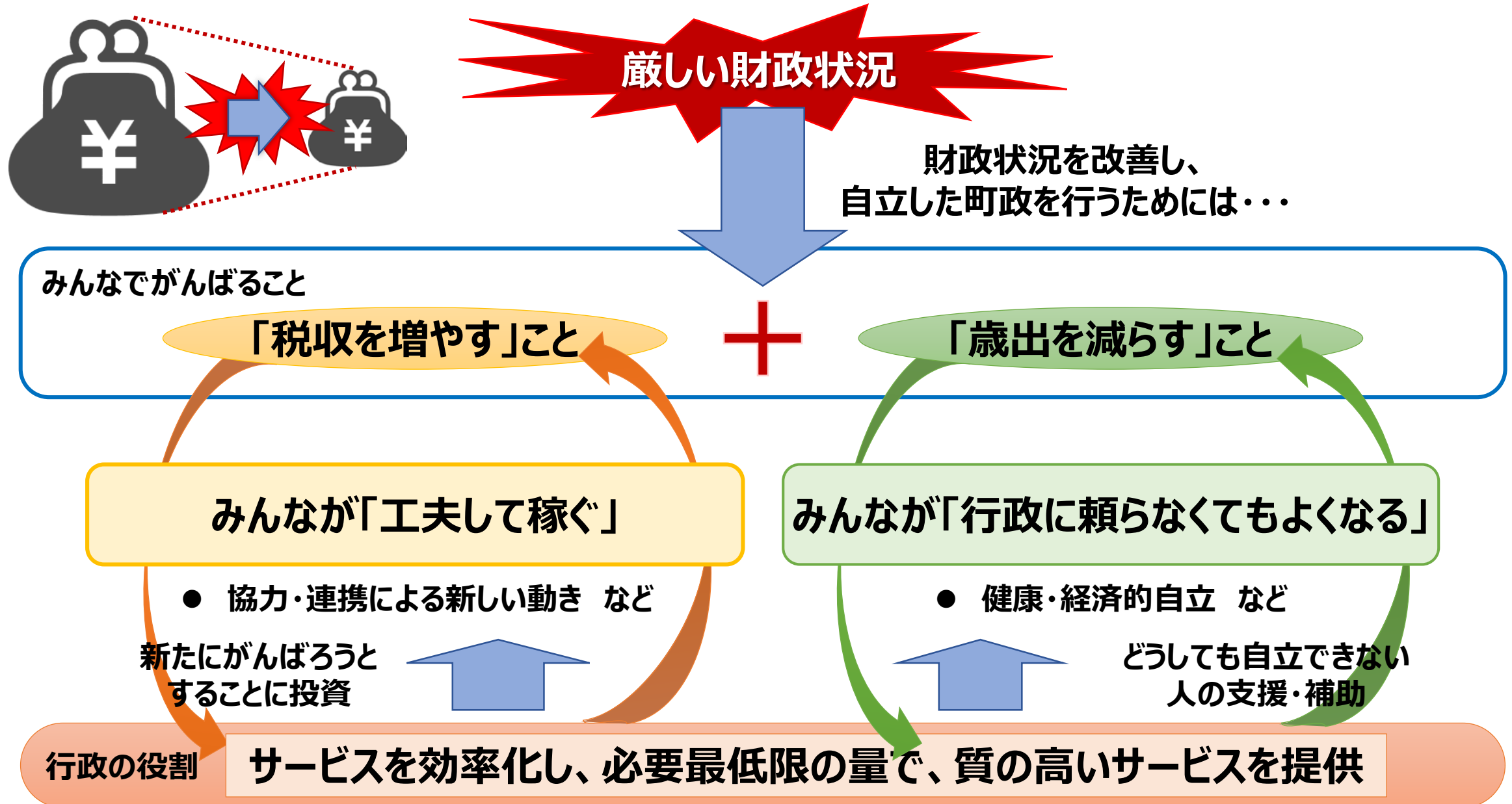
人口が減れば、産業はさらに縮小し、**税収も減少**

税収が減れば、生活サービスもサービス量の維持が困難な状況に

さらに人口が減る悪循環



【総合計画策定の方向性】



社会の変化に対応し、より町民や役場職員に、身近でわかりやすい内容となるように

行政&町民&議会

継承する部分もあるが、
基本的にこだわらずより町民で共有しやすく

①誰が主体の計画？
(計画における主語は？)

②これまでの計画と同じ？
変える？

計画策定における
4つの重要なポイント

④どのように進行管理する？
(管理する数値目標の設定)

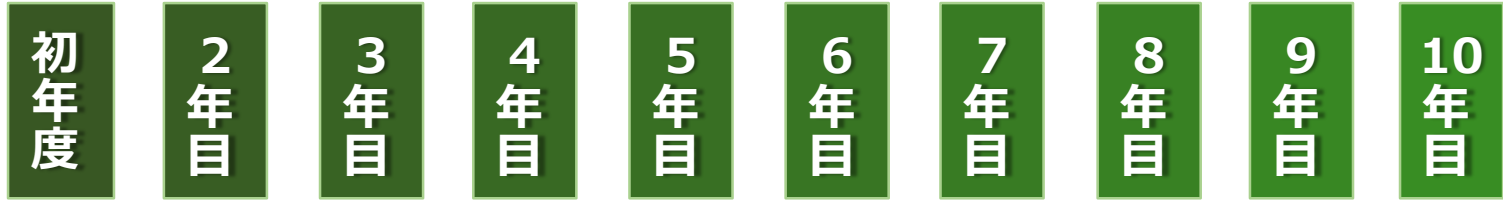
③どの程度網羅する？

重点的な施策について、
きっちりと管理できる数値目標を設定

網羅して記載するが、
メリハリをつけ、重点的な分野に比重を置く

【第6次豊浦町総合計画の構成（案）】

用語	解説（総務省「政策評価の実施に関するガイドライン」を元に編集）
政策	特定の行政課題に対応するための基本的な方針の実現を目的とする行政活動の大きなまとまり
施策	「基本的な方針」に基づき、「政策」を実現するための具体的な方策や対策
事業	「具体的な方策や対策」を具現化するための個々の行政手段であり、行政活動の基礎的な単位



基本構想（計画期間 10年）
 将来のまちの姿とまちづくりの目標

一般的に、住民から意見をいただいて策定

10年

基本計画（計画期間 5年）
 目標を実現するための政策と施策

(前期) 5年 (後期) 5年

実施計画（計画期間 2~3年）
 具体的な施策・事業の内容

(1次) 3年 (2次) 2年 (3次) 2年 (4次) 2年

今後の社会の変化に柔軟に対応するため、具体的な施策・事業を盛り込む実施計画は策定せず、各分野の個別計画で対応

【策定に向けて】

町民の参加・参画により素案作成

- ・町民アンケート（総合戦略策定に向け、平成27年6～7月に実施済）
※豊浦町在住の20歳以上の町民1,400名を対象
- ・中学生との意見交換会（平成29年3～5月で開催）
- ・**豊浦町未来創造シンポジウム**
- ・パブリックコメント（平成29年11月を予定）

総合計画審議会での検討

- ・一般公募委員も含めた12名（平成29年2月～）
※最終的に「答申」をとりまとめ。

庁内での検討・計画決定

- ・平成29年1月～

市民
参加

HP掲載
広報とよら
等でお知ら
せします！